

# 行動する・走る「うつくしま汗かき人」長尾トモ子の日記から



## アダルトビデオ自販機撤去を実現する事ができました!!

昨年6月末に、富田西小PTAの方々と共に、学校近くにあるアダルトビデオ自販機が子ども達に有害と感じ、子どもの危険ヶ所として巡回注視しておりました。9月議会の私の一般質問で県や警察に対しても対策を尋ねましたが、現在二本松の自販機の裁判問題もあり困難な様子もありました。しかし住民の熱意、県の努力、警察の協力もあり、今年3月に異例として撤去できました。県内にはまだ150以上のアダルトビデオ自販機があり、青少年健全育成のためにも考えて行くべき問題です。



**18日に現地調査**  
 郡山市の富田西小PTA、販売機があり、子ども達に有害と感じ、子どもの危険ヶ所として巡回注視しておりました。9月議会の私の一般質問で県や警察に対しても対策を尋ねましたが、現在二本松の自販機の裁判問題もあり困難な様子もありました。しかし住民の熱意、県の努力、警察の協力もあり、今年3月に異例として撤去できました。県内にはまだ150以上のアダルトビデオ自販機があり、青少年健全育成のためにも考えて行くべき問題です。

## 中小企業活性化と産業育成 (4/29・30)

2月13日に、郡山市主催のものづくり講演会で東大阪の「アオキ」の社長青木豊彦氏より町工場の中小企業でも若者に夢を持ってもらうために人工衛星を打ち上げるとい話を聞き、感動した私は、実際に東大阪に行き視察して参りました。



東大阪市のものづくり大使青木豊彦氏ととも子

狭い工場で作業服を着た人達が生き生き働いている姿に日本の産業の底力を感じました。福島県の9割以上が中小企業です。ものづくりに誇りを持つ若者を今こそ育てて行かなければなりません。



8千社の町工場がある東大阪市

## 航空自衛隊創立52周年記念

6月1日、大滝根分屯基地52周年に出席して参りました。日本有数のレーダー基地を備えており、日本の有事を常に監視し、一刻の気のゆるみも許されない所です。冬は-15℃になる過酷な気候の中で働く、航空自衛隊員の方々のご苦労を感じました。



## 福祉公安委員会報告(県外調査 大分、福岡5/13~5/15)

### 大分県 べっぴん子育て支援拠点施設「ほっぺパーク」

乳幼児、小中学生、子育て家庭、高齢者が共にふれあう場



### 福岡県 町立芦野中央病院

経営健全性と地域医療が確保されているため、H19年総務大臣賞を受ける



### 大分県 社会福祉法人「太陽の家」

障がい者が働き、生活する施設で、地域の住民として暮らしている。

太陽の家 直営スーパーマーケット▶



オムロン、ソニー、デンソーなどの工場がある

### 福岡県警察本部

繁華街、歓楽街対策…地域との連携体制が大切



# 県政報告 ともこ だよい

皆様のご意見、ご要望を 963-8041 福島県郡山市富田町前川原22 TEL:024-951-0341 FAX:024-951-0361  
 お気軽にお寄せ下さい メールアドレス tomokon@circus.ocn.ne.jp (ホームページもあります)

## ごあいさつ

太陽が青空に輝き、すべてのものに命の躍動を感じるこの頃です。県議として2期目に入り2年目となり、皆様の御意見を頂く機会も多くなると同時に、「声」を県政に反映させられる事も多くなり、少しでも皆様のお役に立てている事をうれしく感じております。

後期高齢者医療の問題、道路特定財源問題などで民意を充分政策に生かせない事もあり、私達も声を大にし皆様の声を国政に届けております。しかし、これから少子高齢社会で子ども達がこの高齢社会を支えて行くためには、社会保障費が足りず日本の将来も危ぶまれます。今こそ日本の将来を見極め、ムダをなくすと同時に、今自分達ができる事は何かをそれぞれの立場で考え、次世代に希望をつないでまいりましょう。

## 行動する・走る「うつくしま汗かき人」長尾トモ子 (2008.1~2008.6)

### 第1回 野口英世アフリカ賞について

#### ウェレ博士、グリーン・ウッド博士 福島県、特別親善大使に!!

議員1年目のH17.11月議会において、郷土の医聖野口英世博士に対し学校教育の中で、どのように教えているのかを尋ねた時、科学賞として「野口英世賞」を作っているとの事でした。しかし貧しく体にハンディーを持ちながらも努力し、世界の医聖になった博士を、郷土を誇りに思う子どもを育てるためにももっと義務教育の中に取り入れるべきと強く感じておりました。折しもH18.5に小泉元総理がアフリカを訪れた時、ガーナの人々が野口英世博士を敬愛している事に感動し、ノーベル賞に匹敵する総額2億円のアフリカ賞を創設しました。今年5月に第1回アフリカ賞の開催が予定されておりましたが、今年2月になっても寄付が集まらず、県民の意識もいま一つと感じた私は、3月4日の登壇で県の取組みを質問しました。その後、県民や企業が寄付を集め、5月30日の本県でのアフリカ賞受賞者講演会後、福島県が特別親善大使に任命致し、又、5年後の2回目は福島県でセレモニーをする事に決定し、大変うれしく思っております。私も寄付を募るため

“野口英世の母”のコンサートを郡山と若松で行い、25万5千円を県を通し寄付する事ができました。又CD制作をし5年後のアフリカ賞に寄付をする活動も続けて参ります。このアフリカ賞を通じ行動する事によって多くの方々のパワーと人のすばらしさを教えて頂きました。



記念コンサートの  
 浄財千円札で寄付  
 野口英世アフリカ賞記念  
 コンサートは、十一の両  
 日、郡山、会津若松両市で  
 開いた同コンサート実行委  
 員会(世話人代表・長尾ト  
 モ子県議)は、十三日、J  
 ICAの野口英世アフリ  
 カ賞基金に二十五万五千  
 円を寄付した。  
 長尾県議は、野口英世の母  
 を歌ったピアノの曲を山  
 沢直子さんが弾き、阿久  
 津文作(県生活環境部長  
 に浄財を寄託)し、  
 野口博士にちなみ、千  
 円札で寄せて、今回の浄  
 財はコンサートの入場料の  
 一部。



ウェレ博士と共に



みんな喜びのアフリカダンス

阿久津部長に浄財を手渡す  
 長尾県議(右から2人目)ら

### 3月議会 一般質問の内容と当局の答弁についてお知らせ致します。

<27項目について質問>

#### 知事の県政・学校教育

- 問** 知事は県民が望む県政をどう捉え、どう進めようとしているのか。
- 答** 県内各地足を運び、県民の声を聞いている。誰もが安心して暮らせる豊かな福島県を作るため産業振興、子育て支援、人づくり、文化・スポーツの振興を通し「いきいき」くらする福島県を作る。(知事)
- 問** 学校週5日制の中で授業時数の増加にどう対応するのか。
- 答** 研修会を通し改正の主旨を伝えると共に、外部の人材活用など、地域の連携を計る。(教育長)
- 問** 道徳教育の充実にどのように取り組むのか。
- 答** 児童の実体を踏まえ、他者への思いやり、社会のルールを理解させ、さらに感動を与えられるような教材や豊かな経験を有する人材活用をする。(教育長)
- 問** 教師の資質をどのように向上させているのか。
- 答** 企業における体験研修や社会奉仕体験を研修に入れ、社会人として豊かな人間性を身につけさせると共に、各教科の実践的指導力の向上を図る。(教育長)



議会での質問 平成20年3月4日

#### 環境・農業・食について

- 問** うつくしま道サポート制度、川サポート制度の活用状況と効果について。
- 答** 道路は90路線155団体、河川は24河川30団体、合わせて31000人が活動している。(土木部長)
- 問** 学校給食についての県の考え方を尋ねたい。
- 答** 冷凍食品は多くの学校が使用している。食材購入時の検査の徹底、栄養教諭と各学校食育コーディネーターと連携をとる。(教育長)
- 問** 米の消費拡大を図るための取組みについて。
- 答** ごはんの日を中心に小中校における米飯給食、地産地消モデルメニューの開発、高校生を対象に弁当コンテスト実施する。(農林水産部長)
- 問** 観光交流と農業体験の連携について。
- 答** 今年度から「ふくしまアクティブツーリズム総合戦略事業」の一環としてグリーンツーリズムなどを取り入れた旅行商品や「ふくしま旅育推進事業」をし、子どもの教育旅行など滞在型市民農園など新たな交流を支援する。(商工労働部長)
- 問** 大気環境の監視体制の見直しについて。
- 答** 光化学スモッグなどの広域的汚染の問題もあるので中核市と整合を図り浮遊粒子状物質測定の実施をはかる。(生活環境部長)
- 問** 県は猪苗代湖の水辺環境保全にどのように取り組んでいるか。
- 答** 北岸部のヨシ群落の刈り取りとゴミの撤去を地元自治体、事業者の協力を得、又、県民ボランティアを広く募ってゴミ撤去を行う。(生活環境部長)

10年目の先生のキャリアアップ



米の消費拡大のイベント「おにぎりコンサート」



食の大切さを学ぶ...田植体験

蓬瀬川のゴミ(川のサポート)

#### 子育て支援・医療・看護

- 問** 「ファミたんカード」についての取組み状況
- 答** 18才未満の子育て家庭に配布。2月末2340の協賛店日々増えている。22年度以降も取組んでいきたい。(保健福祉部長)
- 問** 助産所に対しての県の考え方を尋ねたい。
- 答** 助産所県内6ヶ所。産婦人科医師不足の中、妊産婦及び新生児の健康管理支援など。(福祉部長)
- 問** 県内看護士養成の現状と養成施設について。
- 答** 県内23施設一学年総定数1120名。民間養成施設に運営費補助行う。(保健福祉部長)
- 問** 病院内保育所の充実について県の取組みについて。
- 答** 県内42施設、24時間保育15ヶ所ある。民間施設に運営費の補助、24時間、病児保育施設に対し補助額加算行う。

#### 中小企業活性化・産業人育成

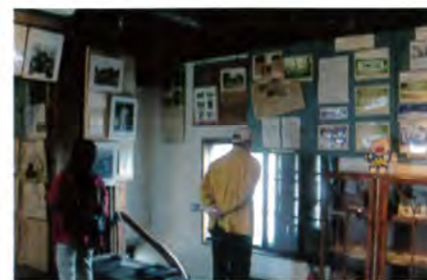
- 問** 次世代の産業人材育成にどのように取組んでいるのか。
- 答** 企業誘致の推進や地域産業振興のため又人材育成が重要。高等技術専門学校を整備すると共に、高校との連携によるマイスター教員育成を実施する。(商工労働部長)
- 問** 県立高等学校におけるものづくりを担う人材育成にどのように取組んでいるのか。
- 答** 地域の伝統産業を支える技術の継承と企業との共同研究を通し、高度な実践的能力を備えた人材育成をする。(教育長)
- 問** 専修学校に対する県の支援にどのように取組んでいるのか。
- 答** 運営費の補助と共に、高等課程の大学入学資格付与校には、授業料減免補助も行っている。(総務部長)

#### 野口英世アフリカ賞について

- 問** 第1回野口英世アフリカ賞に対し、県はどのような支援を行うのか尋ねたい。
- 答** 受賞の内容や募金の趣旨等広報に努める。さらに、受賞者の記念講演会も開催する。(生活環境部長)



社会で育てよう次世代の子ども達 技能五輪全国大会 1,2位独占した今泉女子専門学校



野口英世青春館にて



県民一人ひとりが主役県民運動

**平成20年度福島県当初予算** 一般会計総額8,407億1,900万円  
対前年度比△105億円(-1.2%)  
※平成5年度予算と同水準

